

中学3年 道徳授業案

日 時 平成27年7月22日(水) 3校時
生 徒 3年A組 男子13名 女子21名 計34名
授業場 3年A組教室
授業者 更科 結希

1 主題名 『正義を重んじる』 内容項目4-(3) 正義、公正・公平

2 資料名 『卒業文集最後の二行』 出典:「わたしたちの道徳」

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値

正義を重んじるということは、正しいと信ずることを自ら積極的に実践できるように努めることである。人は正しい行動や言動をしていきたいと考え、人間関係においても公正・公平にすることを大切に、より良く生きたいと願っている。しかし、世の中には未だいじめや差別は無くならず、より良い社会を目指すことは現代社会の課題であるとも言える。

中学生になると、正しい行動や言動をしていくことの大切さを理解し、社会の在り方についても目を向け始める。また、現実社会との矛盾や課題に気付きながらも正義を貫こうとする気持ちが高まってくる。しかし、その反面周囲の目を意識し、多くの意見や考えに左右されたり、自己中心的な考えや行動をとったりする傾向にある。そこには、正義感と集団心理による消極的な行動との葛藤が存在している。

より良い生活のためには、不正な行動や言動のない生活を心がけ、理想を求め強い正義感を持ち、集団としてより良い社会を実現しようという気持ちを持つことが大切である。

指導に当たっては、自己中心的に考えるのではなく周りに流されず、社会的に正しいと思うことを実際に行動しようとする気持ちの大切さについて考えさせたい。また、生徒が持つ正義感を大切にしたいという気持ちを踏まえ、周囲の目を気にする集団意識との葛藤に目を向けさせ、個として集団としてどうあるべきかに触れ、正しいと信じたことを積極的に実践出来るように努め、公平で公正な明るい社会の実現に積極的に努めようとする態度を育てた。

<生徒観省略>

(2) 資料について

本時で用いる資料「卒業文集最後の二行」は主人公が同級生のT子をいじめた事への反省と懺悔の気持ちが描かれている。T子の書いた卒業文集最後の二行から、T子の心の痛みや深い悲しみと苦しみを知り、主人公は深く反省する。過去の自分の行為に恥じらい、苦しむ主人公の心に焦点をあて、いじめや差別、偏見に立ち向かう正義感を培い、公平で公正な明るい社会の実現について考えることができる資料である。

4 本時案

(1) 本時のねらい

筆者の後悔の念を自分の経験と合わせて考えていくことで、集団の中でどのように正義を重んじていくことができるのかを考え、正しいと信ずることを自ら実践しようと勤め、公正・公平に生きようとする心を育む。

(2) 本時の展開 _____ 中心発問 ○発問 △補助発問 □予想される生徒の反応

主な学習活動	教師の関わり	指導展開上の留意点
<p>1. アンケートから、正義を貫く姿勢の変容について考える。</p> <p>・正しいと思っていても実際行動できないから・周囲に流されてしまうから・自分に自身がなくなるから</p>	<p>1. 正義に関するアンケートの結果を提示し、正義を重んじる心が年々減少する現状について考えさせる。</p> <p>○「こんな思いについて考えた経験はあるだろうか」</p> <p>△「年齢によって正義を貫く心情が減っていくのはなぜだろうか」</p>	<p>・主題に対する興味・関心の喚起</p>
<p>2. 資料の範読を聞き、内容について把握する。</p> <p>・T子のみすぼらしい姿をバカにした・差別をして仲間はずれにしてしまった。・周りに合わせていじめに参加した。・T子の答えをカンニングした。</p>	<p>2. 資料「卒業文集最後の二行」を範読し、状況を把握させる。</p> <p>○「T子さんに対する筆者の行為を整理していこう」</p> <p>△「Tさんはどんな思いだっただろうか」</p>	<p>・筆者の行為とT子の思いについて確認する場面</p>
<p>3. 最後の2行を読んだ後の筆者の思いや後悔について考える。</p> <p>・T子を深く傷つけてしまったことへの後悔 ・周りに合わせていじめに参加してしまったことへの情けなさ・T子に謝れずに終わってしまった自分の弱さへの後悔・もう二度と繰り返したくないという決意</p> <p>・謝るべきだったと思っていたのにできない ・正しい事じゃないと思っていたのに正しいことができなかった・周りに流されて間違ったことをした・T子さんを傷つけてしまった ・周りの目が気になってしまう</p>	<p>3. 筆者が卒業文集の最後の2行を読み思ったことを考えさせる。</p> <p>○「<u>筆者の流した涙の意味は何だろうか</u>」 他者との響き合い②</p> <p>○「<u>筆者が正しい行動をとることができなかったのはなぜだろうか</u>」 他者との響き合い①</p> <p>・P230の資料を提示する</p>	<p>・道徳的価値の自覚を深めさせる発問。</p> <p>・後悔はしていたが、正しい行動を取れなかった筆者の思いを比較しながら考えていく</p>
<p>4. 公正・公平について考える。</p> <p>・悪いことは悪いと言える勇気をもつこと・悪いことは、悪いといえる集団の雰囲気をつくること・自分の正義を信じる・行動に移していくこと</p>	<p>4. 公正・公平であるために必要なことについて考えさせる。</p> <p>○「人を傷つけるような行為をなくすためにはどうしたらいいだろうか」 他者との響き合い②</p>	<p>・導入時のアンケート結果について再度触れながら考えていく場面も考えられる</p> <p>・集団の中で個々が正義を貫くためにはどうしたら良いのか考えさせたい。</p>
<p>5. 本時の感想をワークシートに記入する</p> <p>6. 教師説話を聞く。</p>	<p>5. 本時の感想をワークシートに記入するように指示する。</p> <p>6. 教師の説話</p>	

